



第 48 回在宅チーム医療栄養管理研究会

- 日時：平成 20 年 10 月 19 日(日)14 時～17 時 30 分
- 会場：浴風会 第三南陽園認知症研究・研修センター3 階
- 内容：14:00～14:10 代表挨拶・事務連絡

14:10～ 講演『高齢者のターミナルケア』～終末期の水・栄養管理～
講師：特別養護老人ホーム愛全園 施設長 蓮村幸兌先生

人の死は千差万別で、高齢者が必ずしも枯れ木のように静かに眠るような死を迎えられるとは限らない。死は、情緒的で精神的な要因が重視され語られることが多いが、**精神的安定の裏には必ず、肉体的な苦痛の緩和が可能でなければならない**のは当然のことである。

医療者は苦痛を最小限にする方法を知っている。だからこそ、介護と医療のチームケアが必要である。大切なことは、いかに自然に安楽に死を迎えさせ得るか・・・、メンタル的なものの他に、そういった対応の**技術をより細やかに追求してゆく努力も必要**である。ときには、たった 1 枚のシップが、痛みを和らげることさえある。

症例を交えながら、「家族とのコミュニケーションの在り方」「優れた栄養療法としての胃ろう」「皮下注射による輸液」「濃厚流動食」「経口補水塩」「プレ鼻腔食」「漢方を取り入れた医食同源」について解説する。



16:00～ グループ症例検討会

『管理栄養士のかかわったチーム連携症例～病院、施設、在宅～』

<サポート上の目標>

- 症例 1. 在宅にて、栄養状態の評価、誤嚥の予防、食事に関する不安の解消
- 症例 2. 退院に向けて、医師より長期 TPN 管理から経管栄養を開始したい
- 症例 3. 在宅にて、身体に負担をかけず楽しく食事ができる